

自分の能力と可能性を掘り起こそう「可能性」の法則

30. 何かに熱中すれば、「劣等感」は克服できる

人間には誰にも短所と長所とがある。

「私は自分に自信がもてません。どうしたら自信がもてるようになるでしょうか」こんな思いを抱いている人も多いでしょう。いわゆる劣等感というものです。

しかし、ある賢人は言っています。「人間とは、劣等感をもつ生きもののことである」と。「吾よりも他人がえらく見える日よ…」と、天下の歌人石川啄木でさえ、そうした苦悩と隣ったのです。多くの人が劣等感に悩まされても仕方ないことでしょう。

ただ劣等意識を異常に強くもちすぎ、それを口実に努力しなくなるとしたら、それは筋違いというものでしょう。心が安定した人、賢い人なら、他人の才能や能力を素直に称賛し、嫉妬したり、自分をおとしめたりしないからです。

どんな人間にも祖先から受け継いだ長所と短所があるのです。賢い健全な生き方とは、その自分に備わった長所を最大限に活用することです。他人との比較ゲームに夢中になるのではなく、自分の長所を考え、それを役立てることに熱中すれば、劣等感に悩んでいる暇はなくなるはずですよ。

劣等感で悩むより、長所を生かそう

劣等感をなまけることの口実にしないで、飛躍のバネにする。

マーフィーの言葉

地震のない人に共通しているのは、消極的思考ばかりでなく、行動しないこと。それが最大の欠点になっているのです。

きこ書房

マーフィー「お金」と「幸せ」の法則 ジョセフ・マーフィー・インスティテュート編